

# 従来編 運輸・設備業・その他部門 優秀賞



佐藤工業株式会社

## 福島議定書事業2021～ゼロカーボンへの挑戦～ 令和3年度 福島議定書の主な取組について

### 緩和分野に関する取組

#### 節電・節水等

節電や節水等に関するポスターを照明スイッチや蛇口付近に掲示。メールでの通知や環境新聞を発行し、社員の環境意識の啓発を行っています。



#### ゼロエミッション・プラスチック製品からの転換

プラスチック製品を排除するために、ベンダーと連携して本社ビルにある自動販売機の商品をペットボトルから缶製品への転換を行いました。併せて、併設してある空き容器の回収ボックスも全て缶専用に切り替えています。なお、この自動販売機はLED照明や自動消灯機能などが付いた省電力タイプです。



#### 地域貢献

地域環境保全のために、毎月第1土曜日に本社近くの地下歩道及び本社周辺の清掃活動を行っています。道の日にちなんだ道路美化活動等にも参加しています。



#### 太陽光発電の利用

社屋や関連施設に太陽光パネルを設置してCO2削減を図りました。



### 適応分野に関する取組

#### 熱中症対策

現場では、炎天下や熱のこもりやすい屋内などでの作業が多いため、横断幕やボスターなどで啓発を行い、熱中症の指数計の設置や調査票などによる日々の体調管理を行うとともに日よけテントやミスト扇風機の設置、飲料水の配布などを行うことで熱中症対策に努めました。また、近年使用されるようになってきた廃熱用のファンがついた空調服を社員にも配布し熱中症発生防止に努めました。このほか、全社員へ向け当日の熱中症情報を発信したり、警報が発令された場合は同様に社員の携帯電話へその都度、情報発信を行いました。



#### インターンシップ受け入れ

地域の大学や高校から、インターンシップや職場体験の受け入れを行い、現場での仕事や社内の実務などの体験を通して当社の業務について理解を深めていただきました。



#### BCPの策定

BCP(事業継続計画)を策定し、地震や風水害などの自然災害に備えています。また、現場においてはこのBCPを踏まえ、対応手順を施工計画書に盛り込むなどして災害対策を講じています。



人と自然、地域と共に。

### 重点分野に関する取組

#### ごみ分別

本社と現場それぞれで、ごみの種類ごとにゴミ箱やカゴなどを設置して、ごみ分別の徹底を図りました。ペットボトルについてはゴミ箱を全て撤去し、ペットボトル製品を使用しにくい環境づくりを行いました。



#### カーボンオフセット品の採用・リサイクル等

ユニホームにはリサイクル可能なユニホームや、カーボンオフセット対応品を採用しています。



生命を生き育てるかけがえのない自然を次代へと受け継いでいくために、私たちは、地球上に優しく自然と調和のとれた住みよい環境づくりに努めます。